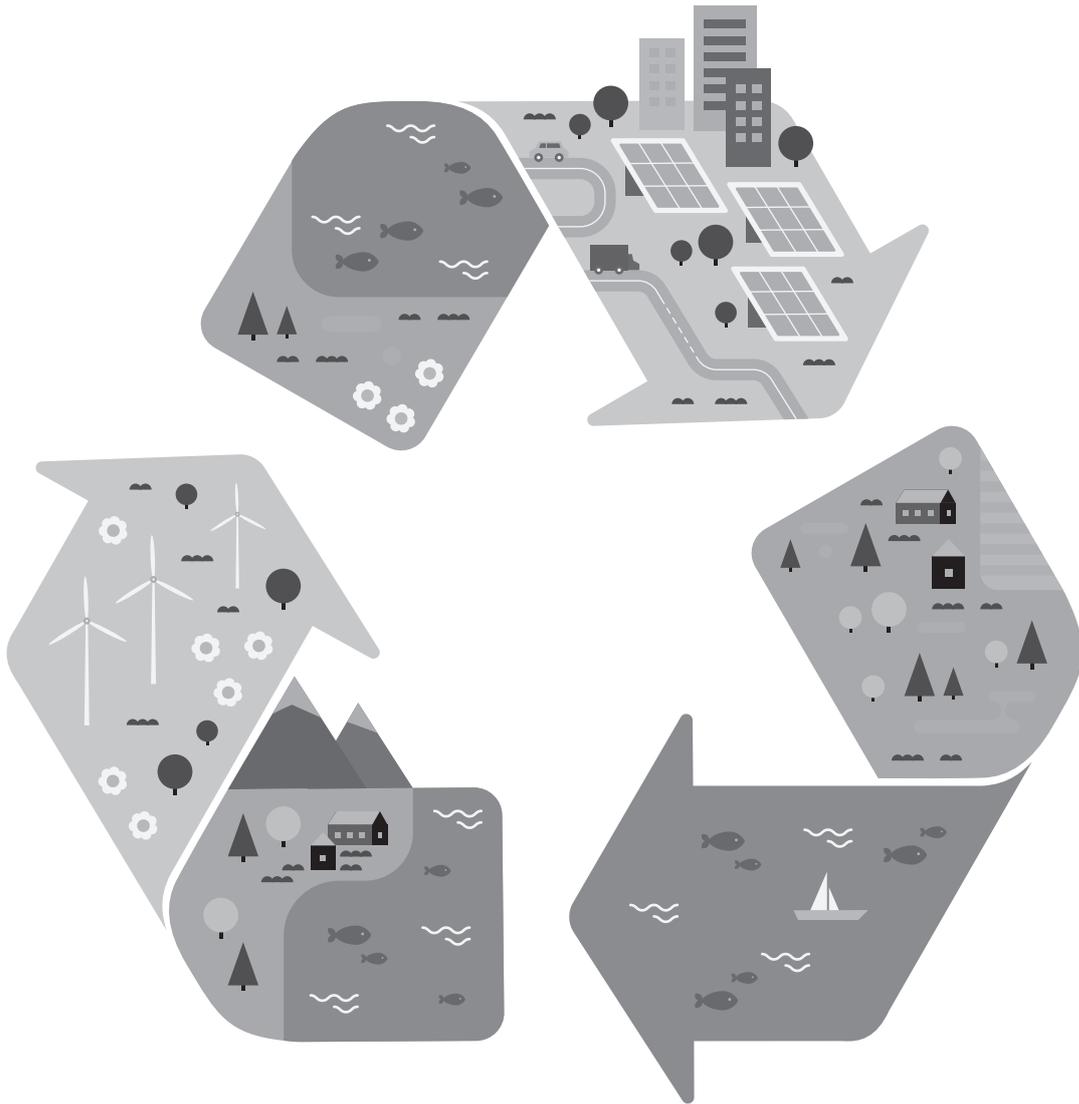


2021 年度

印刷産業機械業界の SDGs 対応に関する  
調査研究報告書（Ⅱ）



2022 年 3 月

一般社団法人 日本印刷産業機械工業会

## はじめに

近年の気候変動による気象の極端化は災害の甚大化を招き、大型台風による大規模な水害や海外の頻繁な山林火災など社会・経済に与える影響も大きくなっています。また発展途上国と先進国との間だけでなく、多くの国や地域で生活・衛生・教育などの格差が解消されていません。この我々の未来に立ちふさがる地球規模での環境と社会の課題を解決し、将来にわたって持続可能な世界を実現する行動計画として2015年国連サミットで「2030アジェンダ」が採択され、17のゴールと169のターゲットのSDGs (Sustainable Development Goals) が設定されました。

日本では2016年政府内にSDGs推進本部が設置されSDGsアクションプランが毎年度策定されており、2019年のアクションプランでは中小企業の取り組み強化が提起されました。サプライチェーンを担う企業はクライアントからSDGs関連情報の開示を求められる可能性が高まり、企業経営にSDGsを反映することがさらに重要になってきています。

このような背景から昨年度SDGsに関する調査研究をスタートし、印刷産業機械業界としてSDGsへの対応を推進するための検討を行ないました。今年度は昨年度の成果を踏まえて業界としての取り組み指針を導き出す活動を行ない本報告書にその成果を取りまとめました。本報告書が皆様のSDGs取り組みに貢献することを願っております。

本調査研究事業では今年度も有限会社サステイナブル・デザインの西原弘先生にSDGs委員会の責任者をお願いし、経済産業省および関連業界の皆様にご指導を賜りました。また工業会会員各位の温かいご協力もいただきました。

心より感謝申し上げます。

2022年3月

一般社団法人 日本印刷産業機械工業会  
会長 森澤 彰彦

# 目 次

## 委員名簿

### 第 1 章 今年度の調査研究の位置付けと概要

- 1.1 調査研究 2 年目の立ち位置 ..... 1
- 1.2 今年度の調査研究の概要 ..... 1

### 第 2 章 課題ごとの活動と成果

- 2.1 業界の統一かつ主体的な活動の設定・推進 ..... 3
- 2.2 ESG への指針作りと活動の対外的アピール ..... 3
- 2.3 ベンチマーク評価の仕組み作り ..... 5
- 2.4 具体的な参考例の提示・会員内での共有 ..... 5
- 2.5 機種別マトリクス作成 ..... 6
- 2.6 まとめと 2022 年度に向けての課題 ..... 6

### 第 3 章 2022 年度の計画

- 3.1 SDGs 経営統合支援プログラムの実行 ..... 7
- 3.2 GPN「持続可能な調達アクションプログラム」の継続 ..... 7
- 3.3 ESG 指針の定着 ..... 8

### —資料編— ..... 9

- 1. ユーザー団体アンケート調査「印刷産業機械製造者に求める SDGs の取り組み」
- 2. GPN「持続可能な調達アクションプログラム」チェックリスト工業会評価
- 3. 会員アンケート「SDGs の取り組みに関する調査」
- 4. 機種別マトリクス

2021年度 印刷産業機械業界のSDGs対応に関する調査研究委員会

委員名簿

(敬称略・順不同)

	委員名	会社名	所属・役職名
委員長	西原 弘	有限会社サステイナブル・デザイン	代表取締役
委員	増田 健人	株式会社小森コーポレーション	CSR推進室
委員	吉川 浩	株式会社デュプロ	事業戦略部事業戦略グループ
委員	前田 良平	日本ボードウィン株式会社	顧問
委員	齊藤 修 安武 貞行	富士機械工業株式会社	東京支社長 営業本部東日本営業部長
委員	照井 了	株式会社ミヤコシ	営業本部国内事業部副事業部長 兼 東日本営業部長

所属・役職名は2022年3月現在

# 第 1 章 今年度の調査研究の位置付けと概要

## 1.1 調査研究 2 年目の立ち位置

SDGs (Sustainable Development Goals : 持続可能な開発目標) は、2015 年の国連サミットにおいて将来にわたり持続可能な世界を実現するための行動計画 (2030 アジェンダ) に記載された国際目標であり、2030 年を達成期限とする 17 のゴールと 169 のターゲットで構成されている。日本政府は 2016 年に SDGs 推進本部を設置し毎年度 SDGs アクションプランを策定してきたが、取り組みのさらなる加速を企図し 2019 年 SDGs 実施指針の改定版を策定した。この中でビジネスの面で SDGs は大企業を中心に一定程度浸透したものの、それに続く中小企業への浸透が重要課題として提起されている。したがって事業規模の大小にかかわらず SDGs を反映した経営方針や事業展開での具体的な行動の重要性がこれまで以上に高まると予想される。

これらを背景に、昨年度は調査研究事業の初年度であることから、SDGs の理解を深め、ステークホルダーとの関係をもとに当業界に求められる SDGs の取り組みと課題の研究を行なった。

今年度は昨年度の調査研究結果をベースに、SDGs の取り組みを企業価値向上の機会としてとらえ、会員企業が積極的に SDGs に取り組めるよう、ステークホルダーの期待や会員同士の情報共有を実現し、最終的に業界としての取り組み指針を導き出すことを目的として活動を展開した。SDGs に取り組むことは企業価値の向上や事業の拡大につなげる機会である一方、SDGs に取り組まないことが潜在的なビジネス機会の喪失や信用の失墜といったリスクを避ける意味からも積極的にアプローチした。

## 1.2 今年度の調査研究の概要

SDGs 達成に向けた経済・社会全体の大きな動きの中で、当業界の SDGs の取り組みが現在どのような状態にあるのか、今後さらに取り組みを進める上での課題はどのようなものがあるのかなど、昨年度の成果をさらに進めて事業経営の指針・活動の道筋をつけるよう試みた。

昨年度の調査研究結果では次の 5 テーマが方向性として示されている。

- ① 業界の統一かつ主体的な活動の設定・推進
- ② ESG への指針作りと活動の対外的アピール

- ③ ベンチマークの仕組み作り
- ④ 具体的な参考例の提示・会員内での共有
- ⑤ 機種別マトリクス作成

これらを当業界に提示するにあたり「ESG 指針」としてまとめることとし、その構成を次のとおりとした。

- ① アセスメント（現状評価）
- ② イノベーション（商品・技術開発）
- ③ マネジメント（目標管理・運用）
- ④ コミュニケーション

ステークホルダーの期待・要求を把握するために印刷産業機械業界のユーザー団体に対しアンケート調査を実施し、当工業界の SDGs 取り組みの現状を把握するために会員企業にもアンケート調査を実施、さらに会員企業の取り組みレベルを客観的に評価するために自社の取り組み内容をチェックし、その結果を外部団体が評価・レポートする活動にも取り組んだ。

今年度実施した活動の概要については第 2 章に、来年度のプランについて第 3 章に記した。アンケート調査集計結果などの活動結果の詳細は資料編に掲載した。

## 第2章 課題ごとの活動と成果

### 2.1 業界の統一かつ主体的な活動の設定・推進

印刷産業機械の製造者に求める取り組みについて、ユーザー業界 12 団体へのアンケート調査を行い、7 団体から 9 件の回答を得た（詳細は資料 1 参照）。

対応を求める SDGs の項目（ゴール）は多岐にわたるが、「特に優先的に対応を求めるゴール」についての回答内容をまとめると、下表のとおりである。

	回答のあったゴールの番号
優先的な対応を求めるゴール①	3,7,12,13,15
優先的な対応を求めるゴール②	3,7,8,9,12,11,13,
優先的な対応を求めるゴール②	4,5,8,9,12,13

（ゴールの番号は 24 ページ参照）

印刷産業機械業界に期待される具体的な要望内容としては、①稼働の高効率化、②スキルレス化、③資源利用効率向上・廃棄物削減・環境配慮型資材の使用、④作業環境の改善、⑤耐用年数延長・劣化の可視化、⑥印刷の高付加価値化などが挙げられる。

これらについて、当工業会として重点技術課題として位置づけ、会員企業による取り組みを促していくこととしたい。

### 2.2 ESG への指針作りと活動の対外的アピール

ESG の観点から印刷産業機械製造業の企業価値向上を図る上で必要・有用な取組について、下記①②の視点から検討を行った。

- ① 会員各企業の ESG 対応を促進するためのガイダンス（考え方・情報源・ツール等の提供）：行動主体は会員企業
- ② 会員各企業の ESG 対応を支援するためのアクションプラン：行動主体は工業会

指針は、A：アセスメント、I：イノベーション、M：マネジメント、C：コミュニケーションの 4 本柱により構成することとした。

以上を踏まえて作成した「印刷産業機械業界における ESG 指針（案）」を次ページに示す。

## 印刷産業機械業界における ESG 指針（案）

SDGs の取り組みは企業価値の向上に資するものであり、ESG 経営に積極的に反映できるよう当調査研究事業活動から導き出した指針を提示する。

### 1. 現状把握（アセスメント）

SDGs の実態を数値でとらえる。自社の製品・サービスや事業活動で生じる環境負荷を数値で把握する（CO<sub>2</sub>・廃棄物・エネルギーなど）。また自社の SDGs の取り組みの適否を客観的に評価する。

環境負荷の数値の把握は環境省「エコアクション 21」の利用でも可能であり、SDGs 取り組みの評価は「グリーン購入ネットワーク」の「持続可能な調達アクションプログラム」のチェックリストを活用する。

### 2. 商品・技術開発（イノベーション）

ユーザー・社会のニーズから重点開発テーマを選定する。ユーザー団体からは次の課題が提示されている。

①稼働の高効率化、②スキルレス化、③資源利用効率向上・廃棄物削減・環境配慮型資材の使用、④作業環境の改善、⑤耐用年数延長・劣化の可視化、⑥印刷の高付加価値化など。特に製品の稼働や運用に関わる部分で環境負荷を減少させる取り組みが望まれる。

### 3. 目標管理・運用（マネジメント）

法令遵守、原材料調達管理、サプライチェーンマネジメントなどの課題はステークホルダーへの情報開示要求などもあり以前より重要性が増している。リスク管理の点からだけでなく、自社の社会的信頼性の向上の意味から SDGs を経営に取り込む。

SDGs 経営の支援プログラムなどに積極的に参加する。

### 4. コミュニケーション

自社の SDGs の取り組みや ESG 経営についてホームページや統合報告書などで積極的に発信する。年度ごとの改善や取り組みの前進を定期的に継続して公開することで SDGs へのコミットメントを明確にし、社内の理解をさらに深め社外へ強力にアピールする。

一般的な SDGs 情報、業界の共有情報も積極的に活用する。

### 2.3 ベンチマーク評価の仕組み作り

グリーン購入ネットワーク（GPN）提供の「持続可能な調達アクションプログラム」チェックリストを利用し、持続可能な調達に取り組む企業等がサプライチェーン調査の対象とする可能性の高い項目について、会員企業が自己評価を行い、その評価内容を GPN が分析・評価しレポートをフィードバックする取り組みを行った。取り組みに当たっては、持続可能な調達に関する研修（オンライン）を行い、希望する会員企業（9社）を対象とした。

初めての取り組みでサンプル数は少なかったが、当工業界全体の評価は A～D の四段階評価の「C」で、「グリーン購入」の面での取り組みが不十分な点が指摘された（詳細は資料 2 参照）。

個別企業へのフィードバック内容については、各企業において評価向上に向けての取り組みに活用されることを期待したい。

### 2.4 具体的な参考例の提示・会員内での共有

会員企業の SDGs への取り組み状況・内容を把握するため、工業会会員 115 社（正会員 104 社・賛助会員 11 社）に対するアンケートを実施し、半数（52.2%）の 60 社から回答を得た。

主な回答状況は以下のとおり（詳細は資料 3 参照）。

- ① 「すでに取り組んでいる」の回答が 35%、「これから取り組む」の回答が 23%、「取り組んでいない」の回答が 42%。
- ② 「すでに取り組んでいる」企業の取り組み内容上位（50%以上）は「情報発信」「社会貢献」「情報収集」「新商品開発」「取り組み指針」、「これから取り組む」企業の取り組み内容上位（50%以上）は「情報収集」「新商品開発」。
- ③ 顧客や外部からの問い合わせ・照会を受けたことがあるのは 33%で、その内容としては、「法令遵守」「CO2 排出」「省エネ」「原材料」「情報管理」など多岐にわたる。

上記のうち「新商品開発」については、「印刷産業機械業界における ESG 指針（案）」およびユーザー団体アンケート調査結果（資料 1）を参考にしつつ、個別に具体的なユーザーの声・要望を反映して、各企業において取り組むことを期待したい。

## 2.5 機種別マトリクス作成

アンケート回答で得られた各社の取り組み事例を、下記①②の視点で分類するとともに、SDGs 各ゴールとの対応関係（各社の回答内容にもとづく）を整理し、一覧表にとりまとめた。

① 機種別：「プリプレス」、「プレス」、「ポストプレス」の3分類

② 活動区分：「製品・サービス」、「事業活動」、「企業活動」の3分類

機種別・活動区分ごとのSDGs 各ゴールとの対応関係をまとめると、下表のとおり（詳細は資料4参照）。

機種別 活動区分	プリプレス	プレス	ポストプレス
製品・サービス	6,12,13,15	6,7,9,12,13,14,15	9,12,13,14,15
事業活動	7,9,12,13,15	7,12,13,15,17	3,7,12,13,15
企業活動	3,5,8,10,12,13,17	3,5,8,12,17	1,3,4,8,10,15,16,17

（ゴールの番号は24ページ参照）

## 2.6 まとめと2022年度に向けての課題

本年度の調査研究事業は、ユーザー業界の要望・会員企業の取組実態など、現状の把握・評価（アセスメント）を中心に活動を行った。

ユーザー団体アンケート調査では、印刷産業機械製造者への要望が明らかになり、重点技術開発（イノベーション）のテーマを明確にすることができた。

会員企業アンケート調査では、SDGs への取組状況・事例と課題を把握することができ、機種別マトリクスを作成することができた（本報告書の発行をもって、具体的な参考例の提示・会員内での共有に対応）。また、GPN「持続可能な調達アクションプログラム」を利用することで、ベンチマーク評価と、各社取組の個別評価・フィードバックを行うことができた。

また、上記の活動と並行して、委員会での検討を通じて、「印刷産業機械業界におけるESG指針（案）」をまとめることができた。

次のステップの課題として、①個々の会員企業におけるSDGs についての認識をさらに深めること、②早い時期に具体的な行動につなげ経営に取り込むこと、③行動のレベルを継続的に引き上げていくための継続的な環境を整える必要がある。

## 第3章 2022年度の計画

調査研究事業の初年度である2020年度はSDGsの理解を深め当業界に求められる取り組みと課題の研究を行ない、2021年度は会員企業が積極的にSDGsに取り組めるよう情報を共有しSDGsの取り組み指針を導き出した。

2022年度は調査研究事業の最終年度であり、より多くの会員企業がそれぞれの事業展開の中でSDGsの取り組みを定着させ将来も継続できるようになることを目標として取り組みを設定する。

### 3.1 SDGs 経営統合支援プログラムの実行

今年度実施した会員対象のSDGs取り組み状況のアンケート調査では回答60社のうち「すでに取り組んでいる」21社以外の、「今後取り組む」14社と「取り組んでいない」25社の計39社（65%）にとって、SDGsはこれからの課題ということになる。

また今回のアンケート調査に未回答の会員も多くあるため、SDGsに取り組まないことで発生するリスクとSDGsに取り組むことで得られる機会を評価し、SDGsを経営発展の新たな「チャンス」として生かすという視点であらためてSDGsの取り組みを進める。その取り組みを推進する具体策として「SDGs経営統合支援プログラム」を策定・実施する。

会員ごとの事業規模の大小や事業内容により、それぞれヒト・モノ・カネ等の事情が異なるが、これから取り組もうという会員がこのプログラムに参加することで、プログラムの終了時にはそれぞれの会員の事情に合ったSDGs取り組み計画が完成するような、聴講と実際の作業を伴うワークショップ形式を組み合わせた一連の研修会としてプログラムを計画する。

### 3.2 GPN「持続可能な調達アクションプログラム」の継続

今年度、GPN（グリーン購入ネットワーク）が展開する「持続可能な調達アクションプログラム」のSDGs活動評価チェックリストを活用した。自社のSDGsの取り組みをチェックリストに沿って自己採点し、それをGPNが分析・評価レポートを提出するもので、自社のSDGsの取り組みのレベルを客観的に認識できる。

工業会全体の評価レポートでは環境面・社会面・製品/サービスの課題には取り

組まれているものの、グリーン購入やサプライヤーに関連する課題の取り組みが弱いという点が指摘されており、今後の課題が明らかになっている。

初回の今回は参加した会員は多くはなかったが、評価レポートを受け取った会員の大半も、それぞれ SDGs の取り組みを進める上で「参考になった」と感じており「振り返り」には有効だったと評価できる。

今後、より多くの会員に SDGs の取り組みを働きかけていき、会員が取り組みを始める中で、活動の区切りごとに自社の SDGs の取り組みの状態を評価する「身体検査」の機能として実施を継続する。

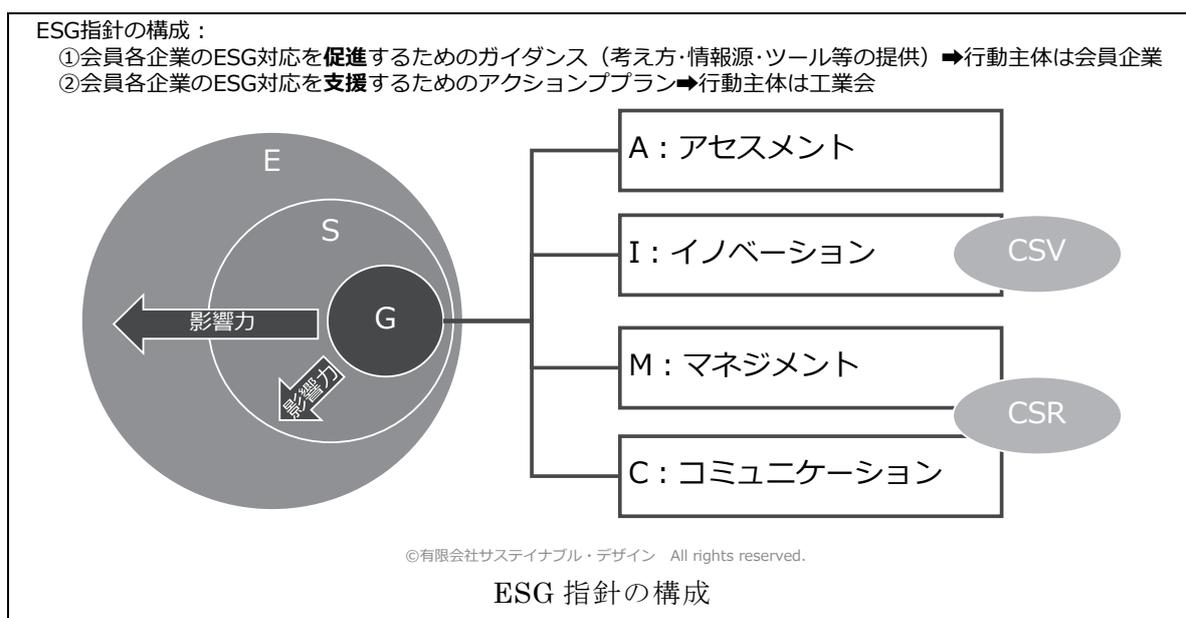
### 3.3 ESG 指針の定着

今年度、「印刷産業機械業界における ESG 指針（案）」を作成したが、これを積極的に展開する。

ユーザー団体アンケート調査から抽出された当業界に要求・期待される重点技術課題は会員が日常的に取り組んでいる新製品開発テーマそのものであり、個々の会員の取り組みの延長線上にある。

一方、印刷産業機械業界での共通プラットフォームの構築など、個々の会員では追究しきれない課題や業界が共同で取り組む課題については当工業会の課題として取り組む。

また他の業界団体への働きかけ・連携なども当工業会として積極的に推進する。



## — 資 料 編 —

1. ユーザー団体アンケート調査「印刷産業機械製造者に求める SDGs の取り組み」
2. GPN「持続可能な調達アクションプログラム」チェックリスト工業会評価
3. 会員アンケート「SDGs の取り組みに関する調査」
4. 機種別マトリクス

## 1. ユーザー団体アンケート調査「印刷産業機械製造者に求める SDGs の取り組み」

設問 回答者	【設問 1】SDGs のどの項目について対応を求めますか？	【設問 2】特に優先的に対応を求めるゴール（3つ以内）と、その具体的な取組み	
1. 団体 A (会員 A 社)	<b>3, 7, 8, 9, 12, 13</b>	優先的な対応を求めるゴール①： <b>7, 12, 13</b> 内容：より省エネで効率的、そしてよりスキルレスな印刷機械が提供されれば、エネルギーの節約や非生産時間の削減をはじめ、事故防止（無駄の削減）にもなり、それによって気候変動対策や持続可能な生産システムの構築につながる。	優先的な対応を求めるゴール②： <b>3</b> 内容：湿し水や高揮発性の洗浄剤など、VOC 等の有害排出物を使用しない設計の印刷機械の開発や提供により、使用する作業者の健康的な生活の確保につながる。
2. 団体 B (会員 B 社)	<b>4, 5, 7, 8, 9, 10, 12, 13</b>	優先的な対応を求めるゴール①： <b>7, 13</b> 内容：2050 年目標とした CO <sub>2</sub> 排出量ゼロへの方針に向け、エネルギー使用量が少ない省エネ対応の機械供給の推進と、労働者の健康被害と周辺環境のクリーンさを求める VOC 利用量を削減した機械の推進。	優先的な対応を求めるゴール②： <b>9</b> 内容：安定した電力供給ができる機械の推進。このためには機械の動作内容による電力の不安定さを無くすインバーターの開発が必要。さらに、メーカーとしての SDGs の取組として、動力源として何が最適かを率先して PR することを進めてもらいたい。原子力・化石燃料・自然エネルギー等の中で自然エネルギーの利用が最もクリーンと思われがちだが、インフラを含めたトータルエネルギーとして何が最も省エネとなるかということも含め、技術革新とエネルギー問題を説明していくべきと思う。
3. 団体 C	<b>7, 9, 11, 13, 15</b>	優先的な対応を求めるゴール①： <b>7</b> 内容：再生可能エネルギーの使用。温室効果ガス排出ゼロをめざす。	優先的な対応を求めるゴール②： <b>11</b> 内容：廃棄物の管理。
4. 団体 D (会員 C 社)	<b>3, 5, 6, 7, 8, 9, 10, 12, 13, 14, 15</b>	優先的な対応を求めるゴール①： <b>7, 13, 15</b> 内容：エネルギー使用量の少ない印刷機	優先的な対応を求めるゴール②： <b>14</b> 内容：洗浄水、廃液が少ない印刷機
5. 団体 D (会員 D 社)	<b>7, 9</b>	優先的な対応を求めるゴール①： <b>7</b> 内容：エネルギー対応のさらなる推進	優先的な対応を求めるゴール②： <b>9</b> 内容：インキ回収率の向上
6. 団体 D (会員 E 社)	<b>7, 8, 12</b>	優先的な対応を求めるゴール①： <b>7</b> 内容：CO <sub>2</sub> 排出ゼロを目指し、設備の無電力化の機械を開発する。回転物機械の特性を生かした発電式印刷機などの開発を推進して頂きたい。	優先的な対応を求めるゴール②： <b>8</b> 内容：設備の完全無人自動化により、経験や知識、技量を要しない機械を開発する。作業をしないでオペレータも配置せず、監視業務に従事するような機械で安心、安全な労働環境を促進する。

(ゴールの番号は 24 ページ参照)

2021年9月14日

<p>内容について教えてください。</p>	<p>【設問3】その他、印刷産業機械の製造者が取組むSDGs対応に関するご意見、ご要望等がございましたら以下にご記述ください。（自由記述）</p>
<p>優先的な対応を求めるゴール③： 8, 9</p> <p>内容：印刷機械の技術革新により、高品位・高付加価値のある印刷物の製造が出来れば、持続的な経済成長が可能となり、製造者の働きがいの向上にもなる。</p>	<p>単にゴールとして、選択したSDGsの項目と、その内容をあげるだけにとどまらず、数値化を含んだ実践的かつ具体的な目標を掲げ、それを達成するための活動を持続的に行って、数値化された毎年の進捗状況（目標達成状況）も掲げて欲しい。</p>
<p>優先的な対応を求めるゴール③： 4, 12</p> <p>内容：作る側の責任として、既定の耐用年数以上に利用が可能となる機械の製造を求めます。この際、使う側に対する徹底したメンテナンス教育も必要がある。また、機械の入れ替え時点で、極力オーバーフローをして再利用できる仕組み、例えば、現状の機械の状態が分かるシステム（部品・箇所ごとに点数で判るような評価）を作り下取り価格を明確にできれば、リサイクルの価値も高まり、使う側も日々のメンテナンスへの遣り甲斐が明確になると思う。</p>	<p>意見・要望等 納期を意識したUV印刷機の製造・導入が進んでいるように思いますが、エネルギー使用量としては従来の印刷機の方が少ないのではないのでしょうか。最近の技術の認識違いかもしれませんが、UV印刷機を進めるのであれば、エネルギー使用量の少ない機械の開発を進めてもらいたいと思います。 また、「印刷＝輪転」といった概念を払拭した新たな印刷技術が生まれたら面白いと思っています。例えば、可逆性塗料（アゾ染料等）を塗布した用紙を重ね、そこに特定波長のレーザーを照射することで発色する技術などを考えてもらったら、大量の印刷物も瞬時に仕上がり、エネルギー使用量も削減できるのではないのでしょうか。</p>
<p>優先的な対応を求めるゴール③： 9</p> <p>内容：資源利用効率向上、生産工程におけるクリーン技術開発、及び普及。</p>	<p>印刷業界の重点的な取組は生産工程におけるエネルギー利用、温室効果ガス対応が主になると考えます。また、資材の選択、物流の考え方などが議論の中心かと思います。</p>
<p>優先的な対応を求めるゴール③： 5</p> <p>内容：外国人労働者や女性でも使いやすい操作系の開発</p>	<p>小ロット化が進んでおり、セット時間が短縮され、熟練工でなくても使用しやすい機械の開発を望みます。</p>
<p>優先的な対応を求めるゴール③：</p>	
<p>優先的な対応を求めるゴール③： 12</p> <p>内容：機械油の定期交換時に発生する廃油を撲滅させ、機械油に変わるものを開発し、無油機械化とする。</p>	<p>無人化、無給油化、無電力化の設備に特化した設備を期待します。</p>

設問 回答者	【設問1】SDGsのどの項目について対応を求めますか？	【設問2】特に優先的に対応を求めるゴール（3つ以内）と、その具体的な取組み	
7. 団体 E	<b>3, 7</b>	優先的な対応を求めるゴール①： <b>3</b>	優先的な対応を求めるゴール②： <b>7</b>
		内容：製造作業に携わる作業員への VOC 暴露量の低減	内容：稼働機械の省エネルギー化への更なる改善
8. 団体 F (会員 F 社)	<b>3, 8, 9, 12, 13, 17</b>	優先的な対応を求めるゴール①：	優先的な対応を求めるゴール②：
		内容：	内容：
9. 団体 G (会員 G 社)	<b>3, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 11, 12, 13, 14, 15, 16</b>	優先的な対応を求めるゴール①： <b>3, 7</b>	優先的な対応を求めるゴール②： <b>9, 12</b>
		内容：VOC 等の有害化学物質排出削減、省エネルギーの更なる推進。	内容：環境に配慮した資材の調達や製品の提供

(ゴールの番号は 24 ページ参照)

内容について教えてください。	【設問3】その他、印刷産業機械の製造者が取り組むSDGs 対応に関するご意見、ご要望等がございましたら以下にご記述ください。（自由記述）
優先的な対応を求めるゴール③：	会社として重要課題の優先付けはしておりません。
内容：	
優先的な対応を求めるゴール③：	地球環境への対応を考えるなら、先ず作業環境の改善が先です。
内容：	
優先的な対応を求めるゴール③：	
13 内容：製品製造工程におけるCO <sub>2</sub> 排出量の削減や再生可能エネルギーの使用	

## アンケート調査のまとめ

SDGs17のゴール	求める ゴール (設問1の 回答数)	取組みを優先するゴール (設問2の回答数)			取組みを優先 するゴール合 計(優先1,2,3)
		優先1	優先2	優先3	
7. エネルギーをみんなに そしてクリーンに	8	7	1		8
9. 産業と技術革新の基盤をつくろう	7		3	2	5
8. 働きがいも経済成長も	6		1	1	2
12. つくる責任 つかう責任	6	1	1	2	4
13. 気候変動に具体的な対策を	6	3	1	1	5
3. すべての人に健康と福祉を	5	2	1		3
5. ジェンダー平等を実現しよう	3			1	1
15. 陸の豊かさも守ろう	3	1			1
4. 質の高い教育をみんなに	2			1	1
6. 安全な水とトイレを世界中に	2				
10. 人や国の不平等をなくそう	2				
11. 住み続けられるまちづくりを	2		1		1
14. 海の豊かさを守ろう	2				
16. 平和と公正をすべての人に	1				
17. パートナリシップで目標を達成しよう	1				
1. 貧困をなくそう					
2. 飢餓をゼロ					

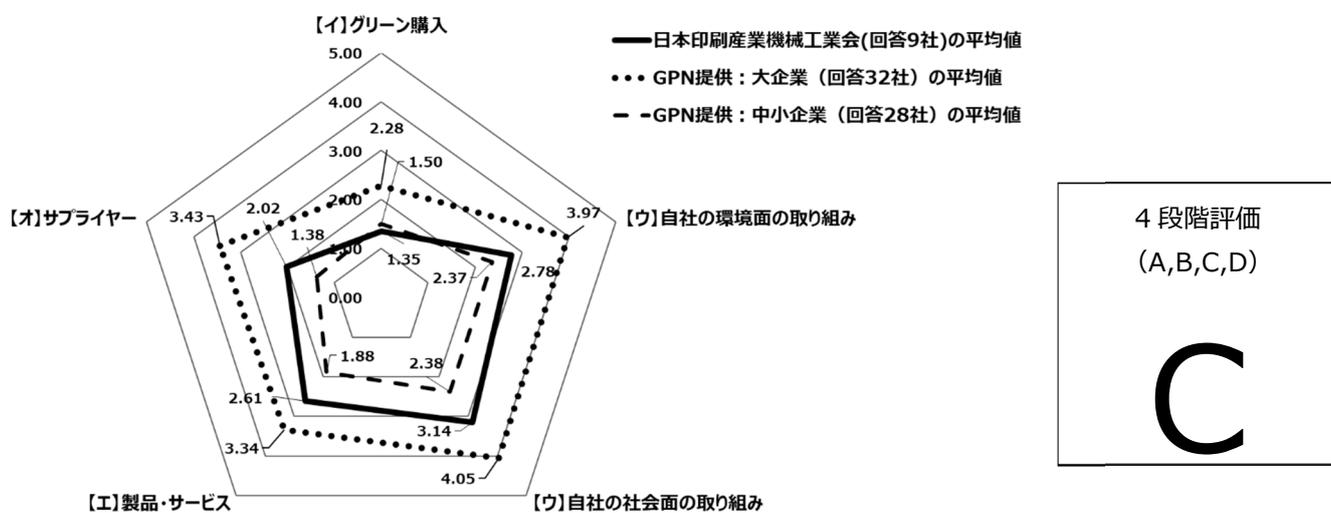
## 2. GPN「持続可能な調達アクションプログラム」チェックリスト工業会評価

一般社団法人日本印刷産業機械工業会は、会員団体のSDGsの取り組み推進に向けて、グリーン購入ネットワーク（GPN）※1の「持続可能な調達アクションプログラム 評価チェックリスト※2」を活用し、各社の取り組み状況の評価を実施致しました。

評価チェックリストを回答した企業にはGPNから個別にフィードバックレポートが届けられ、自社の取り組み状況と、企業規模別の取り組み状況との比較等、今後の取り組みの改善に向けた参考情報が提供されました。

本項では、GPNより当会に報告された回答企業の平均値等の結果について示します。

### ■ 評価結果



・レーダーチャート図では、会員平均値に加え、GPNより、2021年度に評価チェックリストに回答した企業（大企業、中小企業）の傾向を提供いただきました。

・4段階評価は、合計得点を4区分した評価となります。C評価は合計得点より「25%以上 50%未満」が対象となります。

### 【注釈】

#### ※1. グリーン購入ネットワーク（GPN）

持続可能な調達（消費と生産）の推進を通じて、カーボンゼロ、SDGs、サーキュラーエコノミーの実現への貢献を目指す全国ネットワーク。

#### ※2. 持続可能な調達アクションプログラム 評価チェックリスト

持続可能な調達アクションプログラムは、環境面への配慮に加え、人権・労働等の社会面等へも配慮された製品やサービス等の購入（持続可能性を考慮した購入）を推進するために、事業者が自社の取り組みと自社の製品・サービス、さらにはサプライチェーンにおける環境面及び社会面の取り組みをセルフチェックするプログラムになります。

チェックリストは、中項目ごとに関連するSDGsの目標を表示しており、チェックリストに回答することにより、自社の取り組みがSDGsのどの目標と関連付いているのかを確認することができます。

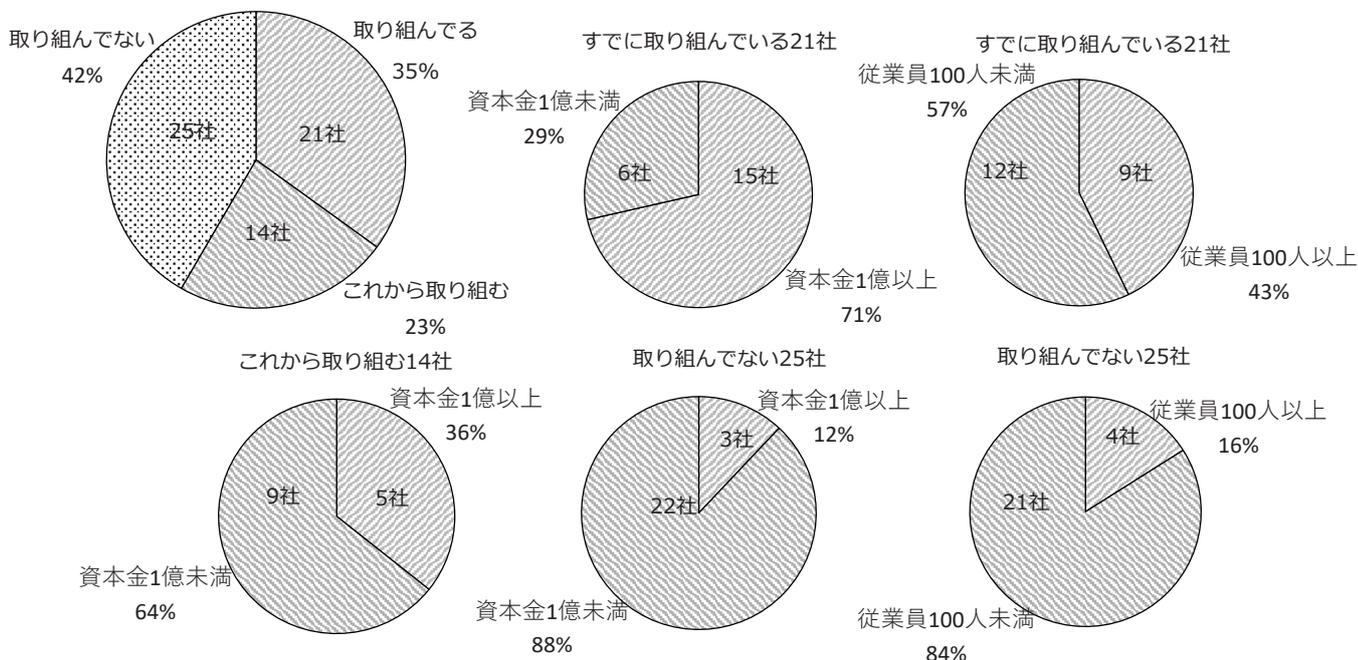
### 3. 会員アンケート「SDGsの取り組みに関する調査」

2021.11.25

一般社団法人 日本印刷産業機械工業会  
印刷産業機械業界のSDGSに関する調査研究委員会事務局

調査へのご協力ありがとうございました。60社の会員様からご回答いただきました。結果のご報告です。

#### 設問1「SDGsをご存知ですか？」



35% : 意味および重要性を理解し、取り組んでいる

23% : 意味もしくは重要性を理解し、取り組みたいと思っている

42% : 言葉は知っていて意味もしくは重要性を理解できるが取り組んでいない

➡ 3割以上がすでに取り組んでおり、2割以上も今後取り組む方向にある。一方、半数近くはすぐに取り組む予定はない。

すでに取り組んでいる35% (21社) を企業規模で見ると資本金1億円以上は15社71%、従業員100人以上は9社 (43%)。

これから取り組む23% (14社) で資本金1億円以上は5社36%、従業員100人以上も5社。

取り組んでいない42% (25社) のうち資本金1億円以上は3社12%、従業員100人以上は4社16%。

これでみるとSDGsの取り組みは資本規模による傾向があり、人的資源も大きければ有利にはたらくが、SDGsに取り組んでいる企業21社のうち半数以上の12社は従業員100人未満であり人的資源の大小はSDGs取り組み姿勢と直接の関係はなさそう。

#### 設問2「貴社のSDGsへの取り組み状況を教えてください」

	取り組んでいる	これから取り組む	取り組んでない
情報発信	76%	14%	
社会貢献	62%	14%	
情報収集	57%	71%	16%
新商品開発	52%	50%	8%
取組指針	52%	14%	
働き方改革	43%	29%	12%
宣言	43%		
社内勉強会	38%		
目標設定	33%	14%	4%
社員研修	29%		
自治体連携	29%		
未取組	0	7%	80%

(1) 取り組んでいるグループ

半数以上が社会貢献に取り組んでおり、3割以上が自治体と連携して取り組んでいる。企業としての方針は明確で外部への発信も7割以上が積極的に行なっている。社内研修・勉強会も3~4割が実行しており社内意識の底上げが行なわれている。半数は新商品でのSDGに取り組んでいる。すでに組んでいるグループのレベルはかなり高い。

(2) これから取り組むグループ

取り組むにあたり7割は情報収集から始める。半数は新商品開発に取り組む意向がある。コロナによる在宅勤務の流れもあるだろうが、働き方改革に取り組む意向が強い。

(3) 取り組んでないグループ

8割は具体的には何も手を付けてないが、具体的な計画はないもののSDGsに関連する情報収集・働き方改革・新商品開発は考えている企業もある。

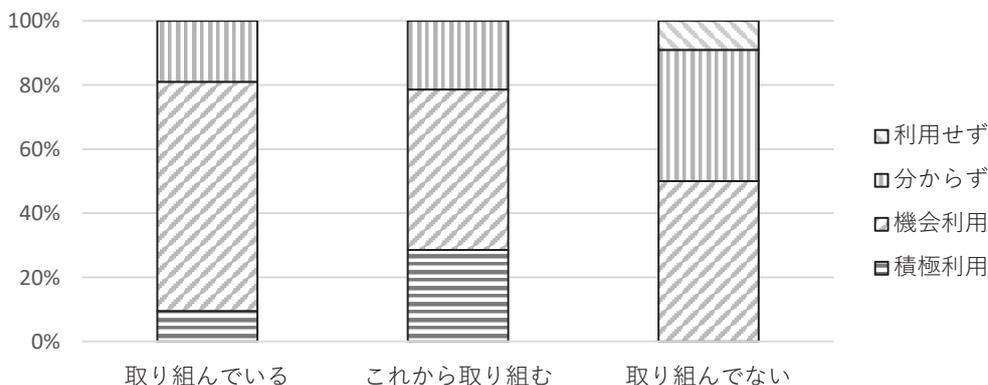
設問3 「SDGsの取り組み状況について、顧客や外部から問い合わせ（照会）などはありましたか？」

法令順守	50%
CO2	47%
省エネ	37%
原材料	37%
情報管理	37%
低炭素	32%
人権	32%
労働法	32%
公正取引	32%
包装低減	16%
3R	11%

外部からの照会があった20社で、問い合わせの半数は「法令遵守」・「CO2排出量/排出削減対策」関連で、3~4割が「省エネ」・「原材料の調達元や合法性」・「適切な情報管理」・「低炭素/脱炭素エネルギー利用」・「人権尊重」・「労働法令遵守」・「公正な取引慣行」に関する。その他「容器/包装低減」・「3R」に関する照会は少ない。取扱い製品の違いでの問い合わせ内容の違いはない。

設問4 「SDGsの取り組み状況を業界内外の平均的な水準と比べて把握できる調査があれば利用しますか？」

	取り組んでいる	これから取り組む	取り組んでない
積極利用	10%	29%	0%
機会利用	<b>71%</b>	<b>50%</b>	<b>50%</b>
利用せず	0%	0%	9%
分らず	19%	21%	41%



(1) 取り組んでいるグループ

すでに取り組んでいる企業も8割が積極的にあるいは機会があればデータ利用の意向。

(2) これから取り組むグループ

今後取り組む企業も3割ほどが積極的に利用で5割も機会があれば調査データ利用の意向。

(3) 取り組んでないグループ

まだ取り組んでいない企業は、取り組み方針が未定のためか半数は業界他社と比べて自社の取り組みレベルが比較できる調査データがあっても利用しないか、どうするかが未定。あとの半数は機会があれば利用する意向。

設問5「ホームページや会社案内などSDGsに関する情報があれば教えてください」

取り組んでいる21社の内、SDGsのサイトを持っている企業は12社、環境に触れているのは2社、統合報告書・コーポレートレポートなどで発信している企業もある。

設問6「SDGsに関する工業会への要望・質問等があれば教えてください」

- (1) SDGsに関する情報収集・啓蒙活動・外部へのアピール
- (2) 取り組み・進め方のアドバイス
- (3) ベンチマーク・ガイドラインの提示
- (4) 事例提示（印刷会社・印刷業界・他業種・SDGs目標1～6と13～17）
- (5) 情報交換・協業模索のプラットフォーム構築
- (6) 行政とのパイプ（経産省の目標提示・主導の働きかけ）

➡ 個々の記述内容

- ・情報収集・啓蒙活動  
SDGsの進め方・やり方のアドバイス  
社内に対応する仕組みがない  
SDGs 取組みのあり方・ベンチマークの提示、積極的に取組み姿勢を市場へ統一的にアピール  
行政とのパイプで経産省の目標を提示  
SDGs目標1～6・13～17の参考例提示
- ・SDGsの17の目標で、印刷会社が取り組んでいる事例等のWeb公開
- ・目標17「パートナーシップで目標達成」推進に取り組む企業・団体同士の情報交換・協業模索のプラットフォーム設定
- ・印刷関連システム全体の目標はあるが印刷機械のSDGs目標なし、事例からガイドライン作成  
各社の取り組みの新ネタ紹介
- ・印刷会社の取組み事例紹介、日印産連・全印工連の取組み情報提供、他業種の取組み紹介  
（日工会・日本産業機械工業会など）
- ・2050年問題に係るscope3の算出基準となる指数・算出方法の提示  
SDGs取組みをユーザーが評価するか疑問。一過性のハヤリを懸念。

設問7「SDGsに関してユーザーからの要望に対しての取り組みがあれば教えてください」

- ・誰もが公平に情報を入手できる製品提供により「情報のユニバーサルデザイン化」を提案、  
「伝わる」に情報改善するための研修実施
- ・オンデマンドの製本工程実現で不良本・過剰在庫削減を達成
- ・環境負荷の低い溶剤開発、UVランプのLED化
- ・印刷時のCO2排出量計算方法提示、ユーザーのクライアントからの要求とのごこと  
特に要望は無いが、FSC認証問い合わせは増加  
行政主導を期待

#### 4. 機種別マトリクス：プリプレス

1 製品・サービスの取り組み	対応するゴール
① 製品のCO2排出量・水使用量・作業時間削減に取り組んでいる（オフセット・製版機械）	6,12,13,15
② 環境負荷の低い材料を採用して製品開発を行なっている（オフセット・フォーム特殊・製版機械・周辺機器）	9,12,13,15
③ 持続可能な社会実現につながる製品開発に取り組んでいる（オフセット・製版機械）	9,12,13,15
2 事業活動の取り組み	対応するゴール
① 事業に直結する森林保全・生物多様性保全に取り組んでいる、FSC認証バンクーバー宣言に署名した（製版機械）	13,15
② 再生可能エネルギー・廃棄物エネルギーの最大限利用に取り組んでいる（製版機械）	7,12,13
③ 資源の有効利用による化石燃料使用量の削減に取り組んでいる（製版機械）	7,12,13
④ 炭素固定技術の活用に取り組んでいる（製版機械）	9,13
3 企業としての取り組み	対応するゴール
① 同一労働・同一賃金を導入した（製版機械）	8,10
② 行政のSDGs活動に参加している（紙工機械）、市の環境保全協定に基づいて取り組んでいる（製版機械）	12,13,17
③ キャリア研修の実施、出産/育児支援など女性が働きやすい環境作りに取り組んでいる（オフセット・製版機械）	3,5,8
④ 障がい者を積極的に雇用している（製版機械・周辺機器）	8,10
⑤ SDGs宣言を発出、環境憲章を制定、中期CSR計画にSDGs活動を盛り込んでいる（製版機械・周辺機器）	17

（ゴールの番号は 24 ページ参照）

## 機種別マトリクス：プレス

1 製品・サービスの取り組み	対応するゴール
① 製品の機能・仕様をSDGsの目標・ターゲットの視点で見直して関連付けしている（オフセット）	12
② 自社のほとんどの製品でカーボンオフセット認証を取得している（オフセット）	9,13
③ 省エネ製品を積極的に販促している（グラビア）	7,12,13
④ 従来UV製品より消費電力の少ないLED-UV製品を販促している（オフセット・グラビア）	7,12,13
⑤ 消費エネルギーの少ないフレキソ印刷機を販促している（グラビア）	7,12,13
⑥ 製品のCO2排出量・水使用量・作業時間削減に取り組んでいる（オフセット・製版機械）	6,12,13,15
⑦ 環境負荷の低い材料を採用して製品開発を行なっている（オフセット・フォーム特殊・製版機械・周辺機器）	9,12,13,15
⑧ 持続可能な社会実現につながる製品開発に取り組んでいる（オフセット・製版機械）	9,12,13,15
⑨ 廃プラ（試刷り用フィルム）を削減する製品開発に取り組んでいる（グラビア）	9,12,14,15
⑩ プラスチックを使用しない紙ストロー製造機を開発した（フォーム特殊）	9,12,14,15
⑪ 環境負荷の少ない環境配慮製品（溶剤）を開発した（オフセット・周辺機器）	9,12,14,15
⑫ 環境負荷の大きいグラビア印刷に代わるEBオフセット印刷を提唱している（オフセット）	9,12,13
2 事業活動の取り組み	対応するゴール
① 業界団体の環境影響調査（地球温暖化への影響を定量的に調査）に参加している（グラビア）	12,13,17
② 工場敷地内に太陽光パネルを設置して再生エネルギーを活用している（グラビア・周辺機器）	7,12,13

（ゴールの番号は24ページ参照）

③ 製品製造過程で発生する産業廃棄物の最終処分ゼロに取り組んでいる（オフセット）	12
④ グリーン調達に取り組んでいる（オフセット）	7,13,15
<b>3 企業としての取り組み</b>	対応するゴール
① SDGsに関する情報収集をしている（オフセット）、SDGs活動推進室を設置した（周辺機器）	-
② 外部講師によるSDGs研修を実施した（オフセット）、経営トップによる社内研修を実施した（周辺機器）	-
③ 現状の企業活動をSDGsの目標・ターゲットの視点で関連性を確認している（オフセット）	12
④ 現在実施している労働時間・時間外管理をSDGsの目標と関連付けた（オフセット・紙工機械）	3
⑤ 現在実施している定期健康診断をSDGsの目標と関連付けた（オフセット・周辺機器）	3
⑥ 在宅勤務・時差勤務を実施した（オフセット・周辺機器）	8
⑦ スポーツ活動を行ない地域でのスポーツ教室なども実施している（オフセット）	3,17
⑧ キャリア研修の実施、出産/育児支援など女性が働きやすい環境作りに取り組んでいる（オフセット・製版機械）	3,5,8
⑨ 再雇用を見据えたキャリアデザインの機会提供など、シニア社員の活躍を支援している（オフセット）	8
⑩ 情報発信：ウェブサイト・ユーチューブ・統合報告書（オフセット・グラフィア・フォーム特殊・周辺機器）	17

（ゴールの番号は 24 ページ参照）

## 機種別マトリクス：ポストプレス

<b>1</b> 製品・サービスの取り組み	対応するゴール
① 環境負荷の低い材料を採用して製品開発を行なっている（オフセット・フォーム特殊・製版機械・周辺機器）	9,12,13,15
② 使用する材質をプラスチックから紙に変更した製品（ファイル）を開発した（製本機械）	9,12,14,15
<b>2</b> 事業活動の取り組み	対応するゴール
① 廃棄物を分別管理している（周辺機器）	12
② アルコール検知器を設置（周辺機器）	3
③ ユーザーのSDGs取り組みを支援している（周辺機器）	17
④ 工場敷地内に太陽光パネルを設置して再生エネルギーを活用している（グラビア・周辺機器）	7,12,13
⑤ 搬入用梱包材を再利用可能材料に変更した（周辺機器）	12,13
⑥ 社内照明をLED化して省エネルギーを実現した（周辺機器）	7,13
⑦ 事務作業のペーパーレス化に取り組んでいる（周辺機器）	12,15
⑧ 製品のリサイクル化事業に取り組んでいる（周辺機器）	12
<b>3</b> 企業としての取り組み	対応するゴール
① SDGsに関する情報収集をしている（オフセット）、SDGs活動推進室を設置した（周辺機器）	-
② 外部講師によるSDGs研修を実施した（オフセット）、経営トップによる社内研修を実施した（周辺機器）	-
③ 全社員がSDGsのバッジを着用している（周辺機器）	-
④ 現在実施している労働時間・時間外管理をSDGsの目標と関連付けた（オフセット・紙工機械）	3
⑤ 現在実施している定期健康診断をSDGsの目標と関連付けた（オフセット・周辺機器）	3
⑥ コロナワクチンの職域接種を行なった（周辺機器）	3
⑦ 在宅勤務・時差勤務を実施した（オフセット・周辺機器）	8
⑧ 教育機会の提供につながるよう学校給食の支援を行なっている（周辺機器）	1,3,17

（ゴールの番号は 24 ページ参照）

⑨ 地域の高校へ技術アドバイスを提供、自社海外ユーザーと国際交流の機会を提供している（製本機械）	4,17
⑩ 製品デモで製作されるサンプルのノートを地域教育機関に寄贈（製本機械）	4
⑪ 国連大学への寄付を行なっている（周辺機器）	4,16,17
⑫ 地域の清掃活動を行なっている（製本機械）	11,15,17
⑬ 障がい者スポーツを支援している（周辺機器）	3,10,17
⑭ 行政のSDGs活動に参加している（紙工機械）、市の環境保全協定に基づいて取り組んでいる（製版機械）	12,13,17
⑮ 障がい者を積極的に雇用している（製版機械・周辺機器）	8,10
⑯ SDGs宣言を発出、環境憲章を制定、中期CSR計画にSDGs活動を盛り込んでいる（製版機械・周辺機器）	17
⑰ 情報発信：ウェブサイト・ユーチューブ・統合報告書（オフセット・グラフィア・フォーム特殊・周辺機器）	17

（ゴールの番号は 24 ページ参照）

# SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



## ゴール番号とゴール

1	貧困	貧困をなくそう
2	飢餓	飢餓をゼロに
3	保健	すべての人に健康と福祉を
4	教育	質の高い教育をみんなに
5	ジェンダー	ジェンダー平等を実現しよう
6	水・衛生	安全な水とトイレを世界中に
7	エネルギー	エネルギーをみんなに、そしてクリーンに
8	成長・雇用	働きがいも経済成長も
9	イノベーション	産業と技術革新の基礎を作ろう
10	不平等	人や国の不平等をなくそう
11	都市	住み続けられるまちづくりを
12	生産・消費	つくる責任つかう責任
13	気候変動	気候変動に具体的な対策を
14	海洋資源	海の豊かさを守ろう
15	陸上資源	陸の豊かさも守ろう
16	平和	平和と公正をすべての人に
17	実施手段	パートナーシップで目標を達成しよう

# SDGs